



初めての水泳授業（1年生）

議会だより

第42号

もくじ

6月定例会……………	14	第3回臨時会……………	15
条例などの審議結果……	14	一般質問……………	16
各会計補正予算……………	15	編集後記……………	19
公営企業会計補正予算…	15		

令和6年第2回定例会が6月12日（水）に開催され、専決処分事項の承認2件、新規条例1件、条例改正6件、令和6年度各会計補正予算2件などが提案され、慎重に審議した結果、それぞれ原案どおり決定した。

○条例などの審議結果（補正予算を除く）

議案番号	条 例 等	条例等の主な内容	審査の結果
報告第1号	令和5年度水上村一般会計繰越明許費繰越計算書の報告	年度内に支出が終わらなかった24事業を翌年度に繰越し	報 告
報告第2号	令和5年度水上村一般会計事故繰越繰越計算書の報告	年度内に支出が終わらなかった3事業を翌年度に繰越し	報 告
議案第1号	専決処分事項の承認（水上村税条例の一部を改正する条例）	個人住民税の特別税額控除に係る規定の新設等	承 認 (全員賛成)
議案第2号	専決処分事項の承認（水上村国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	軽減判定所得の基準額の見直し	承 認 (全員賛成)
議案第3号	水上村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定	マイナンバー法の改正に伴う条例の一部改正	可 決 (全員賛成)
議案第4号	水上村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	厚生労働省令の基準改正に伴う条例の一部改正	可 決 (全員賛成)
議案第5号	水上村重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定	自己負担額の引下げに伴う条例の一部改正	可 決 (全員賛成)
議案第6号	水上村指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定	介護保険法施行規則の改正に伴う条例の一部改正（条項等のずれ）	可 決 (全員賛成)
議案第7号	上球磨地域包括支援センターの職員等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	介護保険法施行規則の改正に伴う条例の一部改正（職員配置基準の緩和）	可 決 (全員賛成)
議案第8号	水上村企（起）業誘致促進条例の制定	企業誘致又は起業促進を図るための新規条例	可 決 (全員賛成)
議案第9号	水上村農林業生産施設条例の一部を改正する条例の制定	施設の長期間使用に対する使用料区分を追加	可 決 (全員賛成)
議案第10号	交通事故に係る損害賠償の額を定めること	交通事故に係る損害賠償の額の決定	可 決 (全員賛成)
議案第11号	工事請負変更契約の締結（第2期市房山キャンプ場大規模改修土木工事）	市房山キャンプ場大規模改修土木工事に係る変更契約を締結	可 決 (全員賛成)
議案第12号	工事請負変更契約の締結（林道上米良大平線災害復旧工事）	林道上米良大平線災害復旧工事に係る変更契約を締結	可 決 (全員賛成)
議案第13号	工事請負変更契約の締結（林道梅木鶴線災害復旧工事）	林道梅木鶴線災害復旧工事に係る変更契約を締結	可 決 (全員賛成)
	議員派遣の件		可 決 (全員賛成)
	継続審査申出書		可 決 (全員賛成)

各会計補正予算

令和6年度水上村
一般会計補正予算（第1号）

一般会計補正予算 6,400 万円 追加

歳入歳出予算の総額に 6,400 万円を追加し、総額を **49 億 5,100 万円**とするもの。価格高騰緊急支援給付金事業費 1,579 万 3 千円、シティープロモーション広告料 1,250 万円、地方創生・産業振興拠点づくり事業費（公有財産購入費等）1,630 万円、新型コロナウイルス感染症対策事業費 1,016 万円などの事業が追加計上された。

公営企業会計補正予算

令和6年度水上村簡易水道事業
会計補正予算（第1号）

簡易水道事業会計補正予算

収益的収入及び収益的支出予算の総額にそれぞれ 410 万 1 千円を追加、資本的収入及び資本的支出予算の総額にそれぞれ 400 万円を追加するもの。

第 3 回 臨 時 会

令和 6 年第 3 回臨時会が 6 月 24 日（月）に開催され、慎重に審議した結果、原案どおり決定した。

○条例などの審議結果（補正予算を除く）

議案番号	条 例 等	条例等の主な内容	審査の結果
議案第 1 号	和解について	村が当事者となった損害賠償請求事件の和解	可 決 (全員賛成)
	継続審査申出書		可 決 (全員賛成)

○令和 6 年度水上村一般会計 補正予算（第 2 号）

歳入歳出予算の総額に 294 万 1 千円を追加し、総額を 49 億 5,394 万 1 千円とするもの。弁護士委託料 178 万 4 千円、和解に伴う解決金 115 万 7 千円が追加計上された。



村の現状！今後の見通しは！！

一般質問

**Q. いつ、どこで発生するか
わからない災害に対して
防災意識をさらに高めるには**

**A. 村の防災訓練や
防災士育成を検討**



小川 恵 議員

問

村全体での防災訓練や防災に関する講習会等の現状と今後の予定は

答

総務課長

村総合防災訓練を4、5年に1回実施。今年度は11月3日に岩野地区において開催予定。現在18行政区のうち17行政区に自主防災組織があり、区長対象に研修会や地区防災計画作成支援を実施。18行政区のうち13行政区が作成済みである。

問

大規模災害発生時には行政（公助）の機能にも限界があると思う。知識と技術を持ち地域活動を充実させる防災士を増やしてはどうか。（現在水上村は男性1名）また、資格取得のための助成制度を設立する考えは。

答

総務課長

総合計画策定において、防災士育成、助成制度等を令和7年度以降に向けて検討していく。熊本県が開催する「火の国ぼうさい塾」も活用し、防災士取得を啓発していく。



**Q. 地方防災会議における
女性比率を30%目標に！**

**A. 女性の比率を高め意見を
反映しつつ防災対策を講じる**

問

女性の視点からの防災・減災・復興への積極的な取り組みの必要性を村はどのように考えるか。

答

総務課長

水上村地域防災計画内においても、各関係機関相互の連携、協力体制の強化及び男女共同参画の視点からの防災体制を確立すると規定し毎年審議を行っている。

問

水上村防災会議や意思決定の場での女性参画の現状は。

答

総務課長

今回の会議では、42名中女性が3名出席。今後は女性が増えるよう創意工夫を行う。指定避難所には必ず女性職員や保健師を配置し

避難所運営の体制は整えている。

問

防災備蓄の選定やローリングストックの観点において、女性の意見は反映されているか。また、意見しやすい環境となっているか。

答

総務課長

所管課女性職員に都度、意見を聞きながら選定を行っている。備蓄食料においては、防災訓練の参加者に非常食を体験していただいたり、水上学園児童生徒に配布し啓発活動を行い、無駄のないローリングストックを行っている。



役場南側にある備蓄倉庫

広がる！交流拠点・産業拠点づくり

JAくまから財産購入



財産購入が予定されている施設等の位置図

地方創生における交流拠点、産業振興拠点づくりを進めるため、球磨地域農業協同組合が所有する財産の購入にかかる予算として1,630万円が追加計上された。

「旧JA水上店舗」では、昨年度から社会的孤立・孤独を防ぐことを目的とした男性高齢者向けの集いの場「寄郎屋（よろうや）」の活動が始まっており、この取り組みを持続的に拡大させていくための交流拠点として活用される。

また、旧筍工場横の「旧JA茶工場」は、企業誘致を進めるための産業拠点として、旧JA水上店舗奥の「旧農機具倉庫・旧機械銀行倉庫」は、産業推進機構による米の出荷倉庫としての活用が期待される。



新たな交流拠点 旧JA水上店舗（左）・産業拠点 旧茶工場（右）

青学ユニフォームに水上村ロゴ

行政スポンサーとして大きな存在感



青学陸上部の練習風景（役場前にて）

青山学院大学陸上部（長距離ブロック）の原晋監督^{はらすすむ}が代表を務める一般社団法人アスリートキャリアセンターは、本村と昨年6月3日に包括連携協定を締結し、原氏が水上村の地方創生推進アドバイザーに認定されるなど、地方創生の取り組みをより確かなものとするためにこれまで様々な取り組みが進められてきた。

本年度、日本陸上競技連盟のユニフォームロゴ規定が改定され、ユニフォームにスポンサーロゴを2つまで表示する事が可能となったことを契機に、青山学院大学陸上競技部（長距離ブロック）のユニフォームに水上村のロゴマークを表示するためのシティープロモーション広告料1,250万円が補正予算に計上された。財源についてはふるさと応援基金が活用さ

れる。

大学三大駅伝「出雲駅伝」「全日本大学駅伝」「箱根駅伝」をはじめとした主要大会、テレビ番組などで水上村のロゴ入りユニフォームが全国に発信される日を楽しみにしたい。

議会を傍聴してみませんか

次回の議会定例会は9月です

（手続は住所・氏名を書くだけです）

詳しくは議会事務局 ☎ 44-0319 まで

政治分野への女性参画を

自治体議員向けオンライン研修会を開催



本村議会独自のオンライン研修を開催

2024年度の法改正で押さえておくべき内容や、近年の自治体議員に関する裁判例などを知ることなどを目的として、5月10日(金)に「自治体議員向けオンライン研修会」を開催した。

法令情報の収集は思った以上に時間と労力を要し、正確な理解がなければ重大な問題が生じる可能性がある。今後の議会活動において、トラブルの原因や解決法を把握する意味でも重要な研修となった。

また、「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が令和3年6月に改正され、日本における政治分野への女性の参画は徐々に進められているものの、諸外国と比べると大きく遅れている。ハラスメントと政治分野における男女共同参画については関連が深いことを認識し、正しい理解を深めた。

研修内容

○「議員のための法的課題解説セミナー」(第一法規株式会社)

○「地方議会議員のためのハラスメント防止研修」

講師：一般社団法人公務員研修協会 代表理事 たかしま なおと 高嶋 直人 氏



安全に配慮したプール

盛夏の候 夏空が眩しく感じる今日この頃、皆さまにおかれましてはお健やかにお過ごしのことと思います。今回6月定例会一般質問の際、『防災』に関する貴重なご意見をたくさんの方に頂けたことを感謝申し上げます。

さて、水上学園は今年度より一体型となり、水泳の授業も旧水上中学校プールで実施されています。低学年には赤いフロアマットを入れることで水深が調節され、子どもたちは安全な楽しい水泳授業となっています。水泳は続けることで「体力」はもちろんのこと「自己肯定感」がアップするといわれ、その自己肯定感は子どもたちが将来、いろんな問題・困難を乗り越える土台となります。

将来を担う水上っ子が、水泳を通して何事にもチャレンジする・諦めない心を身につけ、心身共に成長してほしいと願い、水泳指導のお手伝いをさせていただきます。

さあ、夏本番。ループ橋を通ると、子どもたちの楽しそうな歓声と、キラキラ輝く水しぶきが飛び交っていますよ！

まだまだ暑い日が続きますので、体調には十分ご留意くださいませ。

広報特別委員会

委員長 荒嶽 晋
副委員長 山崎隆浩
委員 小川 恵
委員 杉野貴文

編集後記

小川 恵